

2023 北海道レフェリーアカデミー第2回 事業報告

報告者：丑屋幸大(苫小牧)

【日時】2023年4月29日(土) 4月30日(日)

【場所】札幌山の手高校 小別沢グラウンド SSAP ミーティングルーム, 屋内競技場

【参加者】審判員：高須賀哲平 丑屋幸大 及川凌夢 岩本駿士

インストラクター：古曽部統太郎氏(RAM) 今川一輔氏(RAI) 岡田渉氏(RAI)

オブザーバー：渡部貴大氏(強化指定審判員) 小松祐也氏(RAC2期生)

山口麗弥氏(RAC3期生) 一瀬哲平氏(RAC3期生)

【研修テーマ】走る

4月29日(土)

8:30 集合 札幌山の手高校 小別沢グラウンド

9:30 審判実践① 2023年度 札幌支部高等学校サッカー春季大会 予選ラウンド

江別高校 vs クラーク記念国際高校 主審：岩本 4th：丑屋 担当 INS：岡田 INS

〈自己分析〉

6分の江別高校のキーパーのトリッピングで PK の事象は判定した距離が近く説得力のあったものだと考える。しかし、映像で振り返ると DOGSO の 4 要件を満たしていたため、警告すべきであった。また、62 分の警告の場面では、周りに多くの選手がいた中でカードを提示してしまい、周りが理解に苦しむ場面であったので、改善していきたい。

〈INS 分析〉

自己分析の通り、6 分の江別 GK によるトリッピングは DOGSO の 4 要件が満たされていると考えられる為警告が必要であった。アドバンテージの適用は積極的であるが、SPA の状況でアドバンテージ適用後にロールバックした際は、警告が必要である。

11:00 審判実践② 2023年度 札幌支部高等学校サッカー春季大会 予選ラウンド

札幌厚別高校 vs 市立札幌清田高校 主審：及川 4th：高須賀 担当 INS：今川 INS

〈自己分析〉

判定基準は一貫していたと感じている。懲戒罰の基準も適していた（警告1枚）と思う。DOGSOの4要件のプレーの方向が当てはまらないとファールがあった時に冷静に判断できたことが、とてもよかったと思う。



〈INS 分析〉

いい角度から監視できたことで、プッシングやハンドリングなど逃さずファウルと判定できたことは良かった。ただし、主審の職務と任務(競技規則第 5 条 P60 参照)の中に試合の記録を取るとあります。この試合で交代選手の記録を取らないのは要改善です。

12:30 審判実技③ 2023 年度 札幌支部高等学校サッカー春季大会 予選ラウンド

市立札幌開成高校 vs 札幌日大高校 主審：丑屋 4th：岩本 担当 INS：岡田 INS

〈自己分析〉

ウォールマネジメントを的確に行うことができた。試合開始直後のファウルからしっかりとマネジメントできたので、全体を通して壁のコントロールで苦労することはなかった。

警告は必要ないが注意をすべき事象については、強さと説得力を持って毅然と注意を行えるようになる必要がある。

〈INS 分析〉

前半 14 分ホールディングに対する競技者へのマネジメントは積極性という観点では評価できるが、これをきっかけとしてファウルへの抑止力に効果的な何かがあったわけでもなく、終始ホールディングが行われていた為、マネジメントの方法や内容の的確性は今後の課題である。

14:00 審判実技④ 2023 年度 札幌支部高等学校サッカー春季大会 予選ラウンド

文教大附属高校 vs 札幌山の手高校 主審：高須賀 4th：及川 担当 INS：今川 INS

〈自己分析〉

前回のアカデミーで出た課題のビルドアップ時のポジショニングに関して、すぐに対応できるポジションをとることができた。文教 GK のパントキックが飛ぶことが分かったので争点に合わせてポジションをとることができた。動き出しやスプリントに関しても概ねできていた。中盤エリアでのポジショニングに課題があった。自分にボールが当たったシーンでは、文教がヘディングをした際にベンチ側のレフェリーサイドに少しでも抜けてしまえば良かった。

〈INS 分析〉

3 分,4 分,18 分,27 分,28 分,69 分のスプリントと動き出しの速さは大いに評価できるシーン。また状況に応じたポジショニングも魅力で合った。ボールに当たったシーンは自分の位置を俯瞰的に見て、幅を持たせたポジショニングに努めてほしい。

15:30 振り返り

16:10 諸連絡・解散



4 月 30 日(日)

10:20 集合 SSAP ミーティングルーム

10:30 講義①「PK マネジメント FK マネジメント」担当：古曽部 RAM

本講義では、試合映像を用いて PK と FK のマネジメントについてのディスカッション後、実際にはどのようにしてマネジメントをするのかを学んだ。

PK マネジメント 【BIGPP】 B:ball I:identification G:GK P:player P:postion

FK マネジメント

1. 再開位置
2. ボールのコントロール
3. クイックの保障
4. 壁のコントロール
5. ポジション
6. 再開の笛

11:30 講義②「Heart Rate&Vo2max について」 担当：岡田 INS

本講義では、4 期生の YOYO Test の目標(平均が 4 回目で 40%UP)の確認を行い、Physical check のメリット、デメリットについて学んだ。

目標を達成するために、「Heart rate」「Vo2max」の 2 つを日頃のトレーニングや試合で意識する必要性を知ることができた。



12:20 昼食

13:00 講義③「審判員はどう見られているか」 担当：古曽部 RAM

それぞれが前日の試合映像の切り抜きを客観的に見て、審判員としてどう見えているのか、どう見られるべきなのかを確認した。さらに、何を改善するべきなのかを言語化した。

13:15 講義④「試合中に思考・判断・実行していること」 担当：山口麗弥氏



試合映像を見ながら、山口氏の動き出すタイミングやポジショニングの根拠、DOGSO、SPA が起きる前に考えていることを知ることができた。

14:30 Physical check YOYO + speed Test

speed Test ではランニングフォームを撮影し、後日個人分析を行った。

スプリントテスト 4 人平均:5.07 秒

YOYO 4 人平均:51 本

16:30 諸連絡・解散

